

電気料値上げに関する意見書

文責：尾崎洋人

北海道では今年の6月に電気量が10~19%値上げされるという事が発表済みかと思えます。これにより、自分や他の学生の暮らしが今以上に苦しくなることが予想されますのでこのことについてお話させていただきたいです。

現在、我々大学生は実家暮らしをしている方や一人暮らしをしている方がいます。特に一人暮らしについて、自分もそうなのですが毎月光熱費を自分の口座から支払っています。収入源については、入学時に家の経済状況が良くないため奨学金を借りています。他は実家からの仕送りや短期のアルバイト、学生事務局の活動費から生計を立てております。電気代だけでなく家賃や食費、日用品でもお金を使いますから、生活が安定しているとはいえない状況です。更に、昨今世界情勢などにより、物価が上昇し続けています。特に食品について顕著であると感じております。大学生協の食堂、購買において食品類の値上げが相次いでおり、10円以上値上げしているものもあるため小さな変化ではないと感じます。

食費の値上げが顕著な中、電気量までも値上げがされるという事で、正直辛いところです。自分としてはこれから大学での研究が本格化し、収入が今以上になることは考えづらいです。最低賃金が上がっているとも思いますが、それ以上に値上げが広がっているため、暮らしがよくなることはないと思います。

今回こうして値上げが発表されていますが、果たしてそれらが値下げによりもとに戻る可能性はあるのでしょうか？個人的な考えですが、今後もこうして値上げが行われるのは耐え難いものです。

自分の物件はオール電化ではないですが、学生ではオール電化物件に住んでいる方もおり、電気料の値上げは大打撃であると思います。「値上げをしたのでよろしくお願いします。」と言われてしまえばこちらは払うしかないのですが、お金は無限に湧き出てはきません。値上げはするのに、103万円の壁はそのままなので、結果的に学生は追い詰められています。苦しいのは自分だけではないのです。

以上のように自分や他の一人暮らし学生の生活状況や情勢から意見をさせていただいたうえで繰り返しになりますが、電気料値上げは学生にとっては非常に大変な事なのです。

<参考>

【2023年4月最新】電気料金値上げの現状と企業の具体策

[<https://enetech.co.jp/guide/increased-electricity-prices/>](https://enetech.co.jp/guide/increased-electricity-prices/)